

## 高校生の力は無限大 ～奉仕活動への高校生の参加で思う事～

第2グループでは、ロータリー奉仕デー「それぞれの最上川物語 第3章」に於いて、庄内浜の清掃活動（今年度は湯の浜海岸）に高校（鶴岡中央、鶴岡東、羽黒）のインターアクトクラブや、昨年度からは鶴岡東高校の野球部の3年生も参加してくれる。1時間程度の活動と言いながらセレモニー等もあり実質は30分位である。それでも、私たち大人にとっては、砂浜を歩いている事もあり、かなりの奉仕活動の時間とを感じる。湯野浜は、多くの団体が清掃活動をしてはいるものの、マイクロプラスチックに交じって、車の部品と思われる物や漁具などのゴミなども多くあり、そんな中で一番沢山のゴミを拾ってくれるのはいつも高校生である。

又、我がクラブは、7月上旬の日曜日の内川清掃にも羽黒高校のインターアクトクラブから参加して貰っている。早朝6時からの開始で、庄内一円と新庄から参加する生徒には、無理をしない様にと伝えても、遠くから参加してくれる者もいる。清掃の内容は、ごみ拾いと同時に業者や地元の人が草刈りをしてくれた草木を集めて片付けている。与えられた範囲は、内川の片方の斜面であるが、高校生は時間内で対岸にも走って回りゴミを集めてくれる。我々大人には無い機動力である。

どの奉仕活動も実質30分程で、生徒にとっては、物足りなさを感じているのではないかと思うと同時に、大人の参加の数、拾ったゴミの量、活動の範囲と生徒と比べてしまう。また、今年は遊佐から参加してくれた生徒がおり、活動時間よりも、参加する為の往復の時間の方がはるかに長いのではと、尚更申し訳なく思う。

羽黒高校のインターアクトクラブの活動には、鶴岡中央児童館内外の清掃活動や行事の飾り付け等様々な手伝いもあるし、長く続いているのが羽黒庁舎の企画する「羽黒大家族会議」への参加もある。中学生からお年寄りまで多くの町民が参加し、毎年与えられたテーマに沿っての会議や今年は料理作りであった。高校生は、思いもよらない力を出してくれたり、面白いアディアも出したりしてくれことから、明るい町づくりには欠かせないとても貴重な時間となっている。高校生が様々な年代の人達と協力しながら活動することは、生徒達の視野を広げることであり、社会の様々な問題にも向き合うことに繋がると思っている。

ロータリーアンの多くは、会社の経営者でもある。奉仕活動の時だけでなく色々な場面で高校生を巻き込んだ活動をしてもらいたい。生徒は様々な得意分野があり、会社のロゴマークを作ったり、ワイン用の葡萄づくりの手伝いをしたり、クラウドファンディングまでも行ったりする。

この様に地元にとっての金の卵と一緒に育てていければ、自分の会社や、ひいては地域の大きな活力となり、ロータリー活動への理解にも繋がってくれるものと信じている。